

2023年度 学校経営方針

1. 基本方針

日本国憲法，教育基本法，教育関係法令，学習指導要領及び高知県教育振興基本計画，高知市学校教育指標の精神に則り，児童，保護者，地域の実態や願いを踏まえ，学校教育目標の具現化に向けた教育活動を推進することを経営の基本とする。

〔高知市学校教育指標基本目標〕

- 思いやりのある豊かな心と健やかな体の育成
- 自ら学び，学びの楽しさを共有できる力の育成
- 志をもって社会を生きる人づくり
- 組織力を生かせる学校づくり

2. 学校教育目標

本来学校は，子どもたちの笑顔があふれ，児童同士が関わり合いながら学び成長する場である。その願いを込めて，本校の学校教育目標を，

「笑顔いっぱい学び合う 春野東小学校」

とした。

学習指導要領前文では「これからの学校には(中略)一人ひとりの児童が，自分のよさや可能性を認識するとともに，あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え，豊かな人生を切り拓き，持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」と述べられている。この前文に書かれている内容を本校の学校教育目標に照らすと，「自分のよさや可能性を認識する」ことが「笑顔いっぱい」に通じ，「あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，多様な人々と協働」することは「学び合う」に通じると考える。学習指導要領に照らし合わせることにより新たな意義と可能性が込められた学校教育目標であると捉え，その実現に向け取り組みを進めていく。

3. 「めざす子どもの姿」と育成をめざす資質・能力

「めざす子どもの姿」は次の5つとし，その実現に向け育成をめざす資質・能力を下記のように設定する。

(1) 「めざす子どもの姿」

キーワード

- チャレンジ精神…いろいろなことに進んで取り組み、失敗してももう一度挑戦する児童
- コミュニケーション力…誰に対しても進んで挨拶ができ、場に応じて正しい言葉遣いや話し方ができる児童
- 自尊感情…自分や友だち（他人）の良さに気づき、自分や他人を大切にできる児童
- 学力向上…めあてを意識して主体的に取り組み、最後まであきらめずに課題に取り組める児童
- 郷土愛…春野が大好きで、関心を持ち、春野の良さや課題に気づき表現することができる児童

(2) 育成をめざす資質・能力

「生きて働く知識及び技能の習得」

- ・人権に関わる正しい知識を身に付ける。
- ・対話を通して、知識や技能を習得し、活用や探求につなげる。災害から自らの命を守る生きて働く知識や技能を身に付ける。
- ・よりよい仲間関係を築くことができる。

「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力の育成」

- ・様々な人権課題に対し、解決に向けての方法を考え行動できる。
- ・自分の考えを持ち、互いに伝え合い、深め合うことができる。
- ・学級の問題を解決する方法を考え実践することができる。仲間の中で仲間とともに表現できる。

「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性の涵養」

- ・やさしさや思いやりのある行動をとることができる。基本的な生活習慣を身に付け、よりよい生活を築こうとする。
- ・主体的に学ぶことができる。防災学習を通じ、地震や津波から命を守ることができる。
- ・協力して問題を解決しようとするすることができる。

4. 「めざす子ども像」実現のための取組（アクションプラン）

- チャレンジ精神
 - ・児童の自主性を生かした活動を推進する。
 - ・結果だけでなく、課程も認める活動を行う。
 - ・他と競い、高める活動を設定する。
- コミュニケーション力
 - ・対話を重視する授業づくりに取り組む。
 - ・委員会活動等の特別活動の充実を図る。
- 自尊感情
 - ・活動中、児童のよさやがんばりを認め、肯定的な声掛けを行う。
 - ・清掃活動や帰りの会で、児童同士良いところを発表し合う。
- 学力向上
 - ・めあてを意識させた授業づくりを行う。
 - ・ICT機器を活用した授業づくりを推進する。
 - ・加力学習の充実を図る。
 - ・学習習慣の形成（家庭学習）を定着させる。
- 郷土愛
 - ・地域の良さ及び課題に視点を置いた学習に取り組む。
 - ・総合的な学習の時間における地域の学習の成果を中学校につなぐ。
 - ・安全なくらしのため防災学習に取り組む。

5. 「めざす学校の姿」と「めざす教師の姿」

学校教育目標の実現と合わせ、地域や保護者から信頼される学校や教師となるために「目指す学校の姿」と「めざす教師の姿」を以下のように設定する。

(1) 「めざす学校の姿」

- 安心して過ごせる学校 — 児童や教職員が安心・安全に過ごすことができる学校
- 自分らしく成長できる学校 — 児童や教職員が、自己肯定感や自己有用感をもてる学校
- 地域とつながる学校 — 地域や保護者に開かれ、信頼される学校

(2) 「めざす教師の姿」

- 子どもを深く理解する教師 — 児童理解を深め、児童に寄り添う教師
- 学び続ける教師 — 自ら課題意識を持ち、共に学び成長する教師
- 保護者や地域とつながる教師 — 教育活動への理解と協力を得ようとする教師

6. 学校経営上の留意点

学校経営上、下記の点について留意することとする。

- (1) 教育活動を行うにあたっては、教育課程に基づき組織的・計画的に質の向上を図っていく。
(カリキュラムマネジメント)
- (2) 教育活動を行うにあたっては、PDCA サイクルを回し、検証しながら取り組みの改善を図る。
- (3) 教育活動を行うにあたっては、学年や部による協同的・組織的な取り組みとする。
- (4) 教職員は同じ職場に働く同僚として、互いに敬意を払い信頼関係を築く。
- (5) 春野地区の伝統とも言える各幼保園・小・中・高・特別支援学校との連携を一層進め、どの児童生徒も「春野の子ども」として成長を支える。(春野地区学校運営協議会・地域学校協働本部…「春野っ子を育てる会」)
- (6) 「働き方改革」を進め、教職員が高いモチベーションをもって、児童と向き合う時間の確保に努める。
- (7) 教育活動を行うにあたっては、児童が安全に活動できるとともに活動上必要な環境を整備する。